

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
母性看護学方法論Ⅱ	2年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	明地由紀子 ※
授 業 概 要					
母性機能が発揮される周産期、特に受精から始まり妊娠期・分娩期を中心に母と胎児の健康の維持促進、逸脱への予防の必要性を理解し、その基本的看護を学ぶ。さらに母子を中心とした継続看護について理解する。					
到 達 目 標					
1. 妊娠成立の条件、ホルモン変化について説明する。 2. 妊娠経過における身体的・心理社会的変化及び適応への援助について説明する。 3. 妊娠中の日常生活が正常に経過するための看護を説明する。 4. 妊娠中に起りやすい不快症状や妊婦のリスクを理解し、看護について説明する。 5. 分娩開始、経過を説明でき、分娩進行に伴う産婦と胎児の変化に必要な看護について説明する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-3	1. 妊娠成立の条件、ホルモン変化				明地由紀子 ※
	2. 妊婦期における援助				
	1) 妊娠の生理				
	2) 胎児の発育と生理				
	3) 妊婦の健康診査				
4-5	3. 妊娠の異常と看護				
	1) ハイリスク妊娠・特定妊婦とは				
	2) 妊娠期の感染症				
	3) 妊娠疾患				
	4) ハイリスク妊婦の看護				
6-7	4. 分娩期における看護				
	1) 分娩の要素と経過について				
	2) 分娩進行に伴う産婦・胎児の変化と看護				
	3) 異常のある産婦の看護 ・破水 ・GBS感染 ・分娩遷延				
8-13	5. 妊娠期から分娩期を中心に母と胎児の健康維持促進について				
	1) ポートフォリオ作成				
14-15	2) プレゼンテーション				
学 習 方 法					
講義・プロジェクト学習で進める。周産期（妊娠・分娩）の知識と技術を習得し、臨地実習へと応用するために、継続的な自己学習が必要である。また、限られた時間で専門性を深める学習を行うため、日常から周産期の人々への関心を高める必要がある。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験(60%) ポートフォリオ(30%) プレゼンテーション(10%)					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔2〕 母性看護学各論 森 恵美 他 医学書院 病気が見える vol.10 産科 岡庭 豊 メディックメディア					